

## 福祉用具をレンタルする

用具によって要介護、要支援の対象範囲が異なります。

### 要介護 福祉用具の貸与

日常生活の自立を助ける用具を貸し出します。

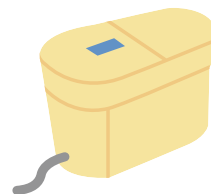
### 要支援 介護予防福祉用具の貸与

日常生活の自立を助ける福祉用具のうち、介護予防に役立つものを貸し出します。

#### 車いす



#### ★ 自動排泄処理装置



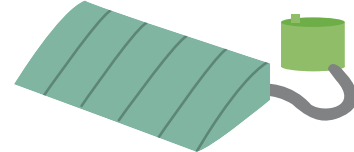
#### ▲ 手すり (工事をともわないもの)



#### 車いす付属品 (クッションなど)



#### 体位変換器



#### 床ずれ防止用具



#### ▲ スロープ (工事をともわないもの)



#### ▲ 歩行器

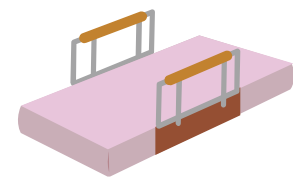


#### ▲ 歩行補助つえ



※令和6年4月から、「固定用スロープ、歩行器(歩行車を除く)、単点杖(松葉づえを除く)および多点杖」は、**貸与と購入の選択制**となりました。

#### 特殊寝台付属品 (マットレスなど)



#### 特殊寝台



#### 移動用リフト (つり具の部分を除く)



#### 認知症老人徘徊感知機器



#### 対象の範囲

要支援 1・2、要介護 1 の方 → ▲  
要介護 2～要介護 5 の方 → ■  
要介護 4・要介護 5 の方 → ★

#### サービス費用のめやす

実際に貸与に要した費用  
(利用者負担 1 割～3 割)

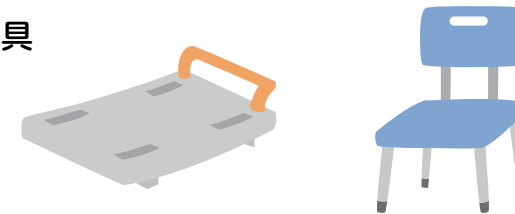
## 福祉用具を購入する

### 要介護 特定福祉用具の購入費の支給

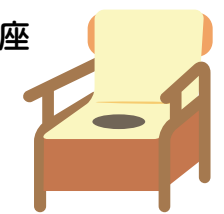
指定された事業所から福祉用具を購入した場合、福祉用具の購入費を支給します。

### 要支援 特定介護予防福祉用具の購入費の支給

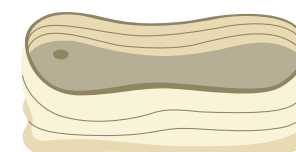
#### 入浴補助用具



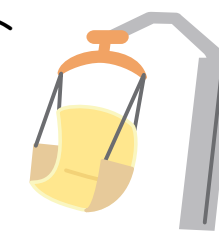
#### 腰掛便座



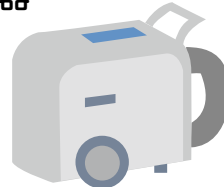
#### 簡易浴槽



#### 移動用リフト つり具



#### 特殊尿器



#### 排泄予測支援機器

膀胱内の状態をセンサーなどで感知することで尿量を測定し、排尿の機会を要介護者または介護者に通知するものです。

#### 手続きに必要な書類

- ① 福祉用具購入費支給申請書
- ② 領収書(原本、被保険者あて)
- ③ 購入した福祉用具のパンフレットの写し等
- ④ 委任状(本人以外が支給を受けるとき)  
※指定されていない事業所や販売店からの購入は支給対象外です。

#### サービス費用のめやす

福祉用具購入費上限額 10 万円  
に対し、介護保険より  
最大 9 万円～7 万円  
(利用者負担 1 割～3 割)  
※購入費用を一度全額負担していただき、  
保険給付は後から支払われます。

## 住宅を改修する

●工事前に必ずケアマネジャーに相談しましょう

### 要介護 住宅改修費の支給

### 要支援 介護予防住宅改修費の支給

手すりの設置や段差解消などの小規模な住宅改修をした際、改修費用を支給します。

#### ▼対象となる工事の例

- 廊下やトイレ、浴室などへの手すりの取付け
- スロープの設置等による段差の解消
- 引き戸などへの扉の取替え
- 滑り防止、移動円滑化のための床材の変更
- 和式から洋式への便器の取替え

#### サービス費用のめやす

改修工事費用上限額 20 万円に対し、  
介護保険より最大 18 万円～14 万円  
(利用者負担 1 割～3 割)

※住宅改修を利用するときは、複数の業者見積りを取りましょう。  
※工事費用を一度全額負担していただき、保険給付は後から支払われます。  
※1回の改修工事で20万円を使い切らず複数回に分けて使うこともできます。

支給を受けるためには改修前・改修後にそれぞれ申請手続きが必要です。

#### 手続きに必要な書類(記入例)

##### <改修前>

- ① 住宅改修承認申請書(改修前)
- ② 住宅改修が必要な理由書  
(ケアマネジャーなどが作成)
- ③ 改修費見積書(被保険者あて)
- ④ 住宅所有者の住宅改修承諾書
- ⑤ 住宅の平面図※
- ⑥ 着工前の改修箇所写真(日付入り)※  
※本人の動線および工事後の状態が読み取れるもの

##### <改修後>

- ① 住宅改修費支給申請書(改修後)
- ② 領収書(原本、被保険者あて)
- ③ 改修費の内訳書
- ④ 改修前後の分かる  
改修箇所写真(日付入り)※
- ⑤ 委任状(本人以外が支給を受けるとき)  
※改修前後の状態が比較できるもの